

# 第Ⅲ期 地域づくり計画書

手間ひまかけて育もう

地域の絆 地域のほこり



地域住民による野菜苗の植付け



さくら保育園園児との玉ねぎ収穫

期間 平成31年度～令和5年度

**あいみ手間山地域振興協議会**

## はじめに

私たちのあいみ手間山地域振興協議会は、住民の皆さんとともに魅力ある地域づくりに向けた事業活動を展開して12年目を迎えます。

この間、各種事業を通じて住民同士のふれあいや交流が着実に図られてきました。

移住者の方々からは、住み易い、住んでよかった等の声が聴こえ、域内に新しい賑わいが生まれています。

今後も、住民目線を大切に『つぶやき』を拾い集めて安心安全な地域、子ども達の賑やかな声が聴こえる明るく活気ある地域を目指して事業活動を実践し、次世代に繋げていきたいと思っています。

さて、この春には念願の地域内外の人たちと集える場所『てま里』が開業します。

この施設は、皆様のご理解とご協力のできた「一般社団法人 手間山の里」が運営・管理するサテライト拠点「手間地区の交流拠点施設」です。施設内には誰でも自由に使える交流スペースがあり、お茶会や喋り場、集いの場等に利用していただき、住民の皆さんの力で賑わいを生み出す拠点にしていきたいと思っています。

今後とも、あいみ手間山地域振興協議会の更なる発展に向けて、ご支援を賜りますようお願いいたします。

私たちは「つどう」「つながる」「つづける」を次世代に繋いでいきたいと思います。

「つどう」→人が集まることで、新たな発見や知恵が生まれる。

「つながる」→様々なものをつなぐことで、新たな価値が生まれる。

「つづける」→継続は力なり、次世代のために視点を忘れず、共通の夢を掲げて新たな価値を生む

平成31年4月

あいみ手間山地域振興協議会

会長 唯 仁 司

## 総務企画部『生活と暮らしの分野』

生活基盤の整った地域づくり  
安心・安全な地域づくり

手間地区は、神話と歴史など古代ロマンに溢れた地域で、伝承すべき多くの文化が継承されています。

伝統文化や史跡などを保存伝承しながら『地域の宝』として、次世代に引き継ぎながら活用し、住民に知ってもらい、地域に愛着と誇りが持てる事業を推進していきます。

また、かけがえのない美しい自然・暮らしや仕事・人との交流・生活文化など、調和のとれた地域づくりを展開していきます。

そして、安心安全で暮らせる体制の強化に向け、子ども達の見守り活動や災害時に備えた高齢者の安否確認など、地域内の連帯意識の強化を掲げ、地域活動を目指します。



教育サポート コミュニティ・スクールへ協力  
(南部中学校ふれあいデー・てま山農園野菜の植付け)



町政に対する要望  
(取りまとめと現地確認)



あいみ手間山防犯パトロール隊  
(通称 白バト隊)



メッセージを募集  
(テーマ「この町に育って」南部中学校卒業生)

活動の目標	地域からの課題	地域でできること
若者の定住・移住促進	<p>○若者の地域外への流出を減少させる環境を作る。</p> <p>○仲人会を作り、結婚相談所を開設する。</p> <p>○企業誘致と合わせ、住宅環境を整え、若手社員の移住を促進する。</p> <p>○独自の職業訓練を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の出会いの場づくり</li> <li>・町の婚活サイトの活用</li> <li>・少子高齢化対策の先進地域との交流</li> <li>・移住者との交流会の開催</li> <li>・子育て支援事業の町外へのPR</li> <li>・「若者向け住宅支援事業」の充実を町に要望</li> <li>・「なんぶ里山デザイン機構」の紹介（職業紹介等）</li> </ul>
生活の利便性の向上	<p>○高齢者の買物サービスを拡充する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売車の増便、充実（徳島の移動スーパーも参考）</li> <li>・スーパー等店舗の誘致</li> <li>・買物代行サービスの充実</li> </ul> <p>○高齢者の移動手段を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回バスの改善（行先の拡大） 町外含む 181 号のバス路線との連動等 自由な乗降</li> <li>・バス停の改善（椅子の設置、見やすい時刻表）</li> <li>・車の相乗りの促進</li> </ul> <p>○降雪時に高齢者宅の除雪を行う。</p> <p>○高齢者を配慮して、ごみ収集場所を増設（見直し）する。</p> <p>○ふれあいバスを土日にも運行する。（親子で利用）</p> <p>○各家にあるものの有効活用など、住民の取り組みを推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーマーケットの定期開催</li> <li>・高価なものを貸し借りする仕組み作り</li> <li>・共同購入の仕組みづくり</li> </ul> <p>○無料相談を充実（多様化）する。</p> <p>○新規店舗開設に向けた取り組みを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動屋台の奨励</li> <li>・日替わり店長制での出店奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいのわ銀行サービスの紹介（生活支援サービス、移送サービス）</li> <li>・消費者ニーズ調査（移動販売、店舗誘致、買物代行サービス等）の実施と、調査結果に基づく対応を町に要望</li> <li>・移動販売車の利用促進、PR</li> <li>・巡回バスの運行改善やバス停の利便性向上を町に要望</li> <li>・車の相乗り、高齢者宅の除雪等、高齢者への支援の取り組みを各地区に推奨</li> <li>・ごみ収集場所の増設等を町に要望</li> <li>・ふれあいバスを活用した親子ふれあいイベントの開催（土日）を町と調整</li> <li>・先進事例の調査（フリーマーケット、共同購入、移動屋台、日替わり店長制等）と情報提供</li> <li>・日替わり店舗として「てま里」の活用</li> <li>・無料相談の充実（多様化）を町に要望</li> </ul>

<p>防犯対策の充実</p>	<p>○見守り隊を充実し、安全パトロールを強化する。</p> <p>○暗闇をなくすため、防犯灯の設置状況を確認する。</p> <p>○悪質な訪問販売や電話への被害を防止する。</p> <p>○不審者について、町民への情報連絡を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パトロール隊員との意見交換、会員募集</li> <li>・防犯灯等の設置状況の確認と町への新設要望</li> <li>・高齢者を狙った悪質商法・詐欺等に対する対処法説明会の開催</li> <li>・不審者についての防災無線での連絡の強化を町に要望</li> </ul>
<p>交通安全対策の充実</p>	<p>○通学路の安全対策（歩道整備、見通し改善、竹木の道路へのはみだし解消、各集落への進入路の草刈り等）を進める。</p> <p>○小学校の登下校時において定期的に車のスピード取締りを実施する。</p> <p>○横断歩道の視認性を高める（蛍光塗料の塗布等）。</p> <p>○カーブミラーや道路標示板等を定期的に清掃する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の通行危険個所を調査し、必要な対応を町に要望</li> <li>・地区内の通学路の環境改善（草刈り等）を推奨</li> <li>・スピード取締りや横断歩道の視認性強化策を警察署に要望</li> <li>・カーブミラー等の清掃活動に対する集落への支援（清掃具の提供等）</li> </ul>
<p>災害への備えと対応</p>	<p>○地区ごとに防災体制を確立し、随時見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対策（集合場所、避難場所、班編成等）</li> <li>・防災マップと組織図の作成</li> <li>・災害時における高齢者への配慮</li> <li>・危険箇所（氾濫、土砂災害等）の住民への周知と随時見直し</li> <li>・避難指示等が発令された場合等の乳幼児の安全確保</li> </ul> <p>○実効性のある避難訓練を定期的実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害パターンを想定</li> <li>・行政のノウハウを活用</li> </ul> <p>○異常気象時の避難場所を設定し、避難場所への誘導表示板を設置する。</p> <p>○防災無線での避難指示について改善を行う（対象地域の明確化、指示の根拠）。</p> <p>○降雨時等に川や池への監視を強化する。</p> <p>○水害に備えて土嚢を備蓄する。</p> <p>○火災発生、鎮火時に防災無線で周知する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講習会（防災体制、防災マップ、支え愛マップ、危険箇所、避難の考え方、防災情報の収集等）の実施</li> <li>・自主防災組織の円滑な活動支援</li> <li>・支え愛マップ（高齢者、障がい者、乳幼児等）の作製を各地区に推奨</li> <li>・町または地区（自主防災組織を活用）での防災訓練の実施</li> <li>・昼間在住者の防災訓練の実施</li> <li>・訓練内容の調査と紹介</li> <li>・避難経路マップ・誘導表示板の設置を町に要望</li> <li>・地区ごとに避難場所を確認、周知</li> <li>・防災無線での避難指示の改善を町に要望</li> <li>・防災無線の効果的活用を地区に推奨</li> <li>・降雨時等における川や池への監視の強化を町に要望、地区での取り組みを強化</li> <li>・土嚢備蓄を各地区に推奨するとともに、土嚢備蓄についての補助制度創設を町に要望</li> <li>・火災情報の防災無線での周知を町に要望</li> </ul>

<p>子育て環境の充実と集いの場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもと住民どうしが安心して楽しめる場をつくる。</li> <li>○コミュニティスクール（地域、家庭、学校）との連携を強化する。</li> <li>○子どもが安心して遊べる管理の整った場所を作る。</li> <li>○地域の危険個所を子ども家庭に周知する。</li> <li>○地域内に「子どもかけこみ110番」の拡充をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の交流会の開催</li> <li>・子ども会活動の紹介、推奨</li> <li>・コミュニティスクールへの参加（呼びかけ）</li> <li>・子どもの遊び場として「てま里」の活用</li> <li>・各地区への危険地帯マップの作成奨励</li> <li>・米子警察署との連携・住民の協力要請</li> </ul>
<p>人の輪づくりとリーダーの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な場面において住民が世代を超えて助け合える体制づくりを図る。</li> <li>○各世代間（老若男女）の交流を促進する。</li> <li>○自治会組織、活動への住民の参加を促す。</li> <li>○農村公園の整備や花見など地域での催しの開催を推奨する。</li> <li>○消防団（青年団）への若年層（中学生以上）の参加を推奨する。</li> <li>○子どもの活動について各地域内での認識を深める。</li> <li>○同様な趣味の仲間づくりができる体制を強化する。</li> <li>○高齢者が集まって活躍できる場づくりを進める。</li> <li>○生活弱者（高齢者、障がい者等）への目配り・気配りができる体制づくりを進める。</li> <li>○行方不明者について、町民への情報連絡を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各世代間（老若男女）交流の場として「てま里」の活用</li> <li>・各イベントへの参加呼びかけ</li> <li>・各地域での「人の輪づくり」の事例調査と紹介</li> <li>・活動中の各クラブの紹介</li> <li>・シルバー人材センターの紹介</li> <li>・協議会活動等へのボランティア募集</li> <li>・生活弱者（高齢者、障がい者等）への理解を深める講演会の開催</li> <li>・生活弱者に対する支え愛マップの作製を各地区に推奨</li> <li>・行方不明者についての防災無線での連絡の強化を町に要望</li> </ul>
<p>空き家対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き家が増える中、子どもの冒険心で起こる事故、不審火または不審者の出入り防止策を講じる。</li> <li>○朽ちて倒壊等の恐れのある建物について対応策を検討する。</li> <li>○各集落で空き地および廃屋等の草刈りを定期的に実施する。</li> <li>○空き家・空き地の持ち主を登録する。</li> <li>○空き家・空き地になるまでの相談窓口を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険建物の現状確認、空き家対策の推進（空家等対策計画の策定、補助事業の制度化）を町に要望</li> <li>・空き家・空き地等の持ち主の確認と同意を得た上での草刈り実施</li> <li>・空き家・空き地相談窓口、空き家・空き地バンクの設置を町に要望</li> </ul>



## 地域づくり部『環境衛生の分野』

花と緑に囲まれた美しい地域づくり  
地域一体となった環境美化の地域づくり

地域内の美しい自然と環境を守り、住む人にとって心安らく場となるように、地域の様子に「気づく」ことが大切です。

子ども達には、動植物などを愛する優しいところを醸成させるために、大人が率先して手本を見せることが必要です。

また、ゴミの不法投棄や分別の徹底、焼却問題など地球温暖化防止に対する啓蒙活動や限りある資源の有効活用、リサイクル・リユースなど、地域で積極的に推進していきます。



手間要害山自然観察会

(樹木・草花・野鳥等観察しながら山頂を目指す)



フラワーロード

(会見小学校児童による花の育成)



思い出ロード

(部員による手型の貼り付け)



環境パトロール

(不法投棄防止啓蒙看板の維持管理)

<環境衛生の分野>

花と緑に囲まれた美しい地域づくり

地域一体となった環境美化の地域づくり

活動の目標	地域からの課題	地域でできること
<p>花と緑のある美しい地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○花いっぱい運動を展開する。</li> <li>○道路沿いだけでなく、田畑に見られる雑草の草刈りを行う（美しい田園風景の保全）。</li> <li>○各組内に「フラワースポット」を作る。</li> <li>○道路沿いや、公民館、ご近所の清掃とガーデニングを行う。</li> <li>○個人宅の庭を開放し「オープンガーデン」とする（仕組み作り）。</li> <li>○公園の環境整備を行う。</li> <li>○各集落で行われている活動の意見交換を行う。</li> <li>○各家庭単位で、清掃・草刈りを徹底する。</li> <li>○雑草対策・ガーデニング技術の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動に対する集落等への支援（苗や材料の提供）</li> <li>・家の前や通路にプランター等の配置を推奨。（通行の妨げにならない程度）</li> <li>・田畑の雑草の草刈りについて、住民ボランティアの参加、農家・非農家の協力。</li> <li>・「フラワースポット」設置について、集落内での協力体制を構築</li> <li>・地域保全会等の立ち上げと継続</li> <li>・「オープンガーデン」について、町や花回廊とアイデアなどの意見交換</li> <li>・公園の環境整備について、町との連携、地域住民ボランティアの参加</li> <li>・各集落活動の発表・報告の場づくり</li> <li>・回覧や冊子で清掃・草刈りを啓発</li> <li>・花回廊によるガーデニング等の指導、講習会の開催を企画</li> </ul>
<p>地域自然の活用と維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内の休耕地を「地区農園」として無償で地区の人に開放する。</li> <li>○休耕地および耕作放棄地を利用して景観形成に取り組む（地域振興協議会が補助できる体制づくり）。</li> <li>○自然を満喫できる公園や緑地を整備する。</li> <li>○竹林の増殖を抑えるための取り組みを進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林整備事業の拡大、推進</li> <li>・おまかせ筍堀り地区の設定</li> <li>・竹の活用・利用法の意見交換のグループ作り</li> </ul> </li> <li>○自然観賞（野鳥・紅葉等）ツアーを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜栽培など農地の有効活用、花回廊との連携。</li> <li>・集落内で協力して景観づくりおよび維持管理。</li> <li>・集落単位での環境美化運動を展開、行政との連携</li> <li>・地目が山林原野の土地のみが対象となっている竹林整備事業について、現状が昔の畑である場合にも事業対象とするよう、町に要望</li> <li>・おまかせ筍堀り地区を設定し、地主または管理者等を配置</li> <li>・竹の活用・利用法についての意見交換グループの有志を地域から募集、アイデアの募集と集積</li> <li>・自然観賞ツアーの企画と参加への声かけ</li> </ul>



ごみの減量・分別の促進	○二酸化炭素の削減の観点から、個人で行えることを調査して実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧版や冊子等でアイデアを紹介</li> <li>・家庭用生ゴミ処理機購入助成金制度の積極的活用を推奨</li> </ul>
道路沿いのゴミ不法投棄の撲滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一斉清掃および集落内清掃や草刈りを確実に実施する。</li> <li>○不法投棄警告ボードは、文章を工夫して効果のあるものにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域一斉清掃等を積極的に実施</li> <li>・「地域のことは地域で」を定着化</li> <li>・不法投棄防止の啓発標語の募集等</li> </ul>
犬・猫等の排せつ物の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○犬・猫の対策を個人で行う場合について、猪対策のように個人負担の軽減を検討する。</li> <li>○防災無線・回覧等を活用して、犬・猫等の排せつ物の対応を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬・猫の対策についての補助制度の創設を町へ要望</li> <li>・集落での排せつ物パトの実施を提案</li> <li>・犬・猫等の排せつ物の対応について、広報・防災無線の一層の活用。</li> </ul>
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南部町統一の生産物を生産し、行政が主体となって県外等へ販売促進し、地区の所得向上と遊休農地の有効活用を図る。</li> <li>○南部町全体での食イベントを開催（店舗＝地区）し、町をPRする。</li> <li>○家庭の太陽光発電の有効活用を図る。</li> <li>○民泊の推進と合宿型ボランティア「ワークキャンプ組織」の開設を検討する。</li> <li>○仕事を手伝う対価として無料で宿泊と食事を提供する「ワークエクスチェンジ」を奨励する。</li> <li>○空き家、公民館、サテライト施設を有効利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部町特産の生産物の開発、生産、販売促進や町全体での食イベントの開催を町に提案、要望</li> <li>・家庭蓄電設備設置への補助金制度の創設を町に要望</li> <li>・「てま里」を含めた民泊施設の情報発信</li> <li>・「ワークエクスチェンジ」について、取組内容の確認と勉強会の開催</li> <li>・空き家、公民館、サテライト施設等、各種施設の情報発信</li> </ul>

## 公民館部『教育文化の分野』

文化と人を育てる地域づくり  
世代を越え、学びでふれあう地域づくり

古事記に記載された手間山（要害山）、赤猪岩神社など、多くの歴史的な遺産、身近にある自然環境や資源を活用して、子どもから大人まで楽しく遊び、学べる事業を企画していきます。

また、地域間の交流に力点を置いた活動を展開して、誰もが気軽に参加できるように工夫をこらすとともに、異世代交流が図られる事業を推進していきます。

そして、先輩の知識や技能を地域に還元、伝承するための場づくりを積極的に推進していきます。



手間地区ソフトボール大会  
（スポーツ振興）



サマーフェスティバル  
（異世代交流）



てま山探検隊・史跡散策ツアー  
（歴史的遺産・地域資源の体験）



しめ縄づくり講習会  
（伝統・文化の継承）

<教育文化の分野>

文化と人を育てる地域づくり

世代を超え、学びでふれあう地域づくり

活動の目標	地域からの課題	地域でできること
<p>伝統行事・文化の継承</p>	<p>○世代間交流を目的に、遊びや行事に子ども達も参加できる場を創る。</p> <p>○若者に伝統行事・文化の継承の場を提供し体験させる。</p> <p>○地域の歴史、文化を案内出来るリーダーを育てる。</p> <p>○広場等で、子どもから大人が集まり、歴史や文化を学習する。</p> <p>○新しく移住されてきた方から地域の歴史や文化等について、反響を聞く場を作る。</p> <p>○伝統的な遊びや地域イベントへの親子での参加を、促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者による伝承事業の開催</li> <li>・伝統行事等に若者が参加できる企画の検討</li> <li>・地域の歴史、文化ナビゲーターの養成を観光協会に依頼</li> <li>・地域の歴史、文化について、語り部による講演</li> <li>・新しく移住されてきた方へのアンケートの実施</li> <li>・コミュニティ・スクールと連携し、地域イベント等への参加を親子へ呼びかけ</li> </ul>
<p>身近にある史跡の学習</p>	<p>○現在と過去の伝統行事の違いを知る場を作り、名所旧跡を学ぶ。</p> <p>○地域の歴史、伝統文化を次世代に繋ぐ。</p> <p>○過去の行事や歴史を再認識し、地域の文化を学習する。</p> <p>○地元神社のルーツを探索し、歴史認識の高揚を図る。</p> <p>○子ども達が自然の中で学び、交流できる場を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統行事や名所旧跡についてのガイド・案内人の養成、観光協会との連携</li> <li>・地域の歴史、伝統文化についての小冊子とマップの作成</li> <li>・各集落の行事、歴史、史跡巡りの企画</li> <li>・古代文化継承委員会の設置</li> <li>・自然体験ができるイベントの開催</li> </ul>
<p>日常の礼儀・マナーの向上</p>	<p>○家庭内教育と学校内での意識付けをする。</p> <p>○地域のコミュニケーションを通じて、子ども達へ浸透させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動の展開と学校との連携</li> <li>・啓発ポスター、看板等の設置</li> <li>・大人からあいさつを率先</li> </ul>
<p>子どもの居場所づくり</p>	<p>○サテライト拠点施設「てま里」を子ども達が自由に使えるように工夫する。</p> <p>○若者や子ども達と一緒に集落内をフットパスで歩き、新しい発見や集落の良さを知る。</p> <p>○ラジオ体操を実施し高齢者や子ども達に参加を呼び掛ける。(春夏秋3シーズン)</p> <p>○スポーツ少年団への参加を促進する。 少子化に伴いスポーツ少年団に参加する子どもが減少し、合同部(会見と西伯)のため送迎が必要となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「てま里」の交流スペースについて、子どもの趣向に合ったの利用を検討</li> <li>・集落内を歩きながら自然が体験できる企画の立案</li> <li>・各集落との連携及び調整(ゲーム感覚でプレゼン等)を検討</li> <li>・スポーツ少年団への参加促進について、町と協議し連携</li> </ul>

<p>スポーツ振興による交流</p>	<p>○集落行事にスポーツ事業が重複するので日程調整をする。</p> <p>○子どもや若者が参加しやすいスポーツ大会を実施する。</p> <p>○集落対抗ではなく、スポーツ愛好家が参加出来る大会を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ事業について、集落との日程調整や、事業内容の見直しを検討</li> <li>・スポーツ大会が魅力的となるよう内容を検討</li> <li>・スポーツ愛好者が集える機会と内容を検討</li> </ul>
<p>人権学習の推進・啓蒙</p>	<p>○言葉と文字にひと工夫する。 （「じんけん学習」とひらがなで記載）</p> <p>○講演会等の参加者を増やす取り組みを行う（参加者が固定化している）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権学習推進委員との連携</li> <li>・地域の人々が人権に興味を持つような勉強会を立案</li> <li>・人権学習講演会等の参加者を増やす一歩運動を展開</li> </ul>
<p>趣味を活かせる機会づくり</p>	<p>○ワラ馬やしめ縄づくりを若者や子ども達に体験させる。</p> <p>○子ども達の農業体験学習を実施する。</p> <p>○小松谷踊り保存会を協議会でバックアップする。</p> <p>○英会話のサークル活動を行う。</p> <p>○収穫体験学習（栗、梨、柿等）を実施し、秋の恵みを実感する。</p> <p>○夏祭り、そば打ち体験等、区民活動への参加を拡大する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワラ馬やしめ縄づくり指導員の確保と機会の提供</li> <li>・農業体験学習について、農業法人や生産組合と連携</li> <li>・小松谷踊りの保存について、両協議会（富有の里、手間山）で調整を検討</li> <li>・英会話講師の紹介</li> <li>・収穫体験学習について果樹農家と調整</li> <li>・各区民活動への参加を呼びかけ</li> </ul>

## ふれあい部『健康福祉の分野』

健康づくりができる地域づくり  
みんなで支えあう福祉の地域づくり

住民自らが、体調を管理しながら正しい生活習慣を身につけて、健康で長生きできる『健康寿命』を目指す取組みを推進します。

そのため、健康診断の受診率を向上させるように、受診への声かけや、広報誌「おひさま通信」に掲載し、地域住民の意識啓発に取り組みます。

また、地域見守り懇談会を充実強化して福祉ネットワークを確立し、情報の共有化を図り、高齢者や障がい者などが孤立しないように支え合う福祉の環境を整備します。



地域見守り懇談会

(地域福祉委員、健康増進委員、民生児童委員、保健師、社会福祉協議会、ふれあい部員の協調)



ふれあい勉強会

(身体を動かす内容・いきいき100歳体操他)



手間地区敬老会

(南部中学校生徒による司会、出演者・集落世話人の協力で開催)



歳末助け合い

(各委員、有志の方々の協力で「てまやまおこわ」を作成し、見守り対象世帯へお届け)



<健康福祉の分野>

健康づくりができる地域づくり  
みんなで支えあう福祉の地域づくり

活動の目標	地域からの課題	地域でできること
健康福祉のネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域全体で高齢者世帯の把握をする。</li> <li>○健康や生活での困りごとへの支援が出来る体制をつくる。</li> <li>○健康づくりをテーマにした講演会や料理、健康レシピも含めた紹介をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯についての地区内での話し合い</li> <li>・健康や生活で困っている人に対し、地域見守り懇談会の活用や健康福祉課、社会福祉協議会への情報提供</li> <li>・おひさま通信の発刊と充実</li> <li>・健康福祉課との連携で健康づくりについての勉強会を開催</li> </ul>
見守り活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者世帯対象者の健康状態を把握する。</li> <li>○地区内でのコミュニケーションの充実を図る。</li> <li>○独居老人等、交通弱者に対して、買い物代行などのサポート体制をつくる。</li> <li>○異常気象時、独居、高齢者の方々の避難支援の体制をつくる。</li> <li>○様々な悩みを分かち合う「互助グループ」を開設する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯に対し、集落内での声掛け運動の推進と健康増進委員等各種委員との連携</li> <li>・デマンドバスの手間地区への導入を町に要望</li> <li>・独居老人等、交通弱者について地域見守り懇談会で情報共有</li> <li>・異常時における地区内の対象者の把握と支援体制づくり</li> <li>・健康福祉課との連携強化</li> </ul>
高齢者の生きがい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いきいきサロン、老人会を活用し健康、福祉運動への参加・推進を図る。</li> <li>○大人と子どもの交流を行い、触れ合いの活性化を図る。</li> <li>○子ども会やちびっこサロンへの参加を呼びかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の参加しやすいイベントの開催と参加への声掛け</li> <li>・昔遊び、モノづくり教室などのイベントの企画、開催</li> <li>・イベント参加案内の回覧と、町内放送の活用</li> </ul>
健康な体づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町内、地区内でのウォーキングイベントを開催する。</li> <li>○百歳体操などの健康状態を考慮した高齢者向け体操教室を開催する。</li> <li>○地域のコミュニケーション向上を目指して、老若男女の出来ることを計画する。</li> <li>○マッサージイベントを開催する。</li> <li>○スポーツ施設の利用促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリーの活用</li> <li>・集落内でのウォーキングコースづくり</li> <li>・スポネット、社会福祉協議会の道具、器具を使用した体操指導、支援の取り組み</li> <li>・集落内での祭りや各種行事への参加</li> <li>・マッサージイベントの定期的な開催と参加への案内</li> <li>・スポーツ施設を利用した活動内容の情報発信</li> </ul>



赤猪岩神社

**あいみ手間山地域振興協議会**

〒683-0201

鳥取県西伯郡南部町天萬548

TEL・FAX (0859) 64-3790